夕刊
常磐新聞
七月十四日
發行兼編輯印刷人　伊藤隆次
福島縣小名濱町古港一　發行所　常磐新聞社
日刊但日曜祭日翌日休刊
一部二錢　一ケ月　三十錢
廣告料　一行　五十錢

クスリ
資生堂
小名浜町
電一四七

日本水素工業工事視察に中野社長來小

藤村工場長絶對親任を披瀝

昨十三日午後七時泉驛着列車にて中野日本水素工業社長が來小した、早速工事中の事務所に入り從業員一同を聚め一場の訓示をなしたが、その要點は非常時局の從業員は戰場にある心組にて眞劍なる精勵を擢じなければいけない、旨を縷々數千言を費し、最後に藤村工場長に及び工場長は私が最も信頼する人で一意工場の完成に精進してゐる事は各位の目前に見てゐることで藤村氏を中心とした努力は延ては國策上に適合する所以であるのだと藤村氏を再認識せしむる訓示を述べ終てより從業員の慰安晩饗會を料亭小瀧に開催した、十四日は工場視察を爲し各部門より經過を聽取し一同を激勵して午後三時四十分の列車にて歸京した

古井戸に轉落して アツちやん溺死

出せい兵の長男

小名濱町定西長岡義在同居人松原みいさん長男敦ちやん（三ツ）は昨十三日午后五時過ぎ居宅續きの元捕鯨會社製造場の古井戸にてん落して溺死した敦ちやんの父さんは今出征中で、いたく同情されてゐる

小名濱の叙勳者

去る滿洲事變の論功行賞が福島聯隊區司令官より本町宅通知になつたが小名濱町では左の五名である。旭八、歩兵伍長小野兵吉氏、瑞八砲上小野武男氏、瑞八砲一、小宮清次郎、瑞八、砲一、小山田新七氏、賜金砲一、小野一郎氏

又、昇格した小名濱觀測所

中央氣象台 小名濱測候所と成る

永年に渉る小名濱町民待望の小名濱觀測所は愈々明七月十五日より中央氣象台小名濱そく候所に昇格する事に決定した因に職員その他は未だ判明せざるも約八九名の增員を見る模樣である

小名浜の煙草屋さん 報國貯蓄組合結成

―長期應戰、五ヶ年据置き―

非常時局下の小名濱町煙草小賣業者は此程報國貯蓄組合を結成、左の賣上割合によつて夫々貯金するもので五ヶ年据置き

一ヶ月五百圓以下三十錢
千圓以下一圓、千圓以上二千圓迄一圓三十錢、二千圓以下三千圓一圓五十錢、三千圓以上四千圓二圓五十錢、四千圓以上五千圓二圓五十錢、五千圓以上七千圓三圓

玉川村收入役 高萩氏に決定

玉川村收入役波木井氏任期滿了の處、この程村會に於て萬場一致高萩儀平氏が承認され收入役に決定した

本田中佐

戰死者遺家族慰問

渡邊村泉田出身本田乙彦中佐は十三日鹿島村の村葬に參列の爲め歸來中の處今日（十四日）小名濱町松の中出身松崎重久、上等兵の戰死を悼み、その遺家族を訪問して燒香し而して哀悼の意を表した

小名濱軍人遺家族

身上相談所設置

銃後の完璧を期する目的にて今回縣の命に依り小名濱町に軍人遺家族身上相談所が設置された、所長に、副助役、相談役、校長、警部補、區長、方面委員、會計收入役書記には丹野寛平、村上保一郎両氏が任命された

戰友の香奠五十一圓 前線から近く生家へ

平窪出身の松本君散華

平市中平窪辰の口出身江口部隊上等兵松本翁介君は去月十七日山西省附近の激戰で名譽の戰死を遂げ遺骨は原隊に聲なき凱旋の上平市葬を行つて英靈を葬ふことになるが同君の生前朝夕前線の勞苦を共にした戰友達は夫々の俸給を割いて五十一圓五十錢を纒め英靈に供へることになり戰地から送つた旨、十四日市役所に通知あつた、尚同君の遺留品手拭便箋、時計、寫眞、チョッキ、奉公袋等二十一點も同時に送られるはばである

落磐壓死

内郷村宮字平太郎磐炭坑夫井畑善太郎（三三）は十三日午后零時頃坑内作業中落磐で壓死した

團体本義講習會

石城教育部會では七月一、二の兩日小名濱校で團体本義の講習會を開く、講師は文部省教導學局教官近藤善治氏

小川村會

小川組合村では十三日午前十時村會を招集、自作農維持規定程改正外三件を附議、下小川村では十三日午后一時村會を開き部落世話係推薦其の他四件を附議

公會堂に寄附

石城町村長支會では平市公會堂建設費に各町村割當てで二千圓を寄附することに十二日の總會で決定

幼年學校

仙臺陸軍幼年學校職員生徒四百余名は來る二十六日から八月五日まで十一日間久の濱海岸で心身鍛錬をする、宿舍は同町小學校が當てられる

獻金

湯本町品川白煉瓦工場職工米澤善朗君外男工六名、女工十名は十一日同町八坂神社の祭典を利用し團子賣りをして純益十圓二十錢を國防費に獻金した

福島縣觀光寫眞懸賞募集

一、應募寫眞は福島縣内に於ける名勝舊蹟其他觀光寫眞
一、應募作品の大さは四ッ切以上引伸密着共原版添付
一、應募作品は未發表のものに限る、適當の臺紙に貼付裏面に出品者の住所氏名を記入の事
一、締切九月二十日
一、發表十月一日
一、賞金一等金百圓二等金五拾圓二名三等金貳拾圓三名選外佳作金五圓貳拾名
一、入賞作品は東京市及縣内主要都市に於て公開の豫定
一、應募寫眞竝に原版は一切返戻せず版權は本會の取得とす
一、審査員福島縣觀光協會東京市日本寫眞風光社山田應水氏外數氏
一、作品送届簡所福島縣廳内福島縣觀光協會

天氣豫報

今晩　晴聚雨模樣
明日　同

金物銅鐵一切
磐城セメント特約代理店
三井生命保險平代理店
釜屋商店
電話九番、九九番
振替口座一〇九五六番

謹告
一般印刷物の御用命を切に御願ひ申上げます。
弊印刷所は技術優秀なる熟練職工數名が腕の唸りを鎭めて各位の御用命を待ちわびて居ります。
常磐新聞同樣御引立を願ひます。
敬具
常磐新聞社
常磐印刷所
小名濱電話呼一三九
平支局電話　七四八

巷の聲

反對藝妓屋阻止方法は此處だ

興隆小名濱町の尖端的商賣として料理旅館業、藝妓屋などは一寸本町に一歩を入れゝば外來者に衝動を與へる丈けに、其處に種々なる思慮臆測を逞せしむる事となる、

今度小名濱に反對藝妓屋が出來る、又は料理旅館業が別に大資本を擁して現在の藝妓屋と對抗するなどゝ浮說は街頭に流れ出る、如斯き說を耳にする毎に藝妓屋としては脅されると迄は行かずとも餘り良い心持になれない事丈けは確かであろう、それで藝妓屋組合でも何等の不安も感ぜず料理旅館組合員も藝妓屋の數が多くならずとも曩如として兩者間が車の兩輪の如く行ける方法を講ずる事が先決問題と、せなければなるまい現在の本町藝妓の數は料理旅館組合に二名平均にしか當つてゐない、などは藝妓を呼で商にする資業者としては然の事にて當人の喜びと欲求するのも無理からぬ事た、種々郷里の御話を申上になる、それで最も肝腎の其日は渡邊氏の案内に上海條件はげいぎ屋に料理旅館市の戰跡を見學する事に致業として滯りなく支拂の出しましな、市内近郊の破壞來る樣な方策を講じてやる激甚なるを目擊し東亞の大事が最も大切であろう小名僅業の犧牲とはいへ寒心の濱で傳統と言ふても宜い位極みであります、數里の間に藝ぎ屋よりは料理旅館組は支那家屋は一軒も滿足の

合の方が劣勢である（例外として二三はあるが）其處に讓精神で行く事にすれば反對げいぎ云々や料理組合がは此處だ

興隆小名濱町の尖端的商賣として料理旅館業、藝妓屋などは一寸本町に一歩を入れゝば外來者に衝動を與へる丈けに、其處に種々なる思慮臆測を逞せしむる事となる、

今度小名濱に反對藝妓屋が出來る、又は料理旅館業が別に大資本を擁して現在の藝妓屋と對抗するなどゝ浮說は街頭に流れ出る、如斯き說を耳にする毎に藝妓屋としては脅されると迄は行かずとも餘り良い心持になれない事丈けは確かであろう、それで藝妓屋組合でも何等の不安も感ぜず料理旅館組合員も藝妓屋の數が多くならずとも曩如として兩者間が車の兩輪の如く行ける方法を講ずる事が先決問題と、せなければなるまい現在の本町藝妓の數は料理旅館組合に二名平均にしか當つてゐない、などは藝妓を呼で商にする資業者としては然の事にて當人の喜びと欲求するのも無理からぬ事た、種々郷里の御話を申上になる、それで最も肝腎の其日は渡邊氏の案内に上海條件はげいぎ屋に料理旅館市の戰跡を見學する事に致業として滯りなく支拂の出しましな、市内近郊の破壞來る樣な方策を講じてやる激甚なるを目擊し東亞の大事が最も大切であろう小名僅業の犧牲とはいへ寒心の濱で傳統と言ふても宜い位極みであります、數里の間に藝ぎ屋よりは料理旅館組は支那家屋は一軒も滿足の

國家の爲め前線に樹ち惜しがないと思ひます

これ眞に支那民族を愛する者の行動であつて此際遲疑假遇は百年の悔を遺すものであります

幸に軍民の協力に依り上海の秩序は日に〳〵復舊の歩を重ねつゝあるも尙路頭に迷へる農民市民僅少ならず故國には多年心血を濺いで築き上げたる長江流域に於ける既得權益を見捨てゝ歸國したるもの有利販路を防害されて困窮の極にある對支貿易商の如き多々存すべく是等の復興には占領地域に確固たる經濟的基礎をきづき上ることの考へさせられましたまして東亞永遠の平和日支兩國共存共榮の大理想實現の爲には支那の中核心である中支振興は實に本邦銃後の國民に特に實業人に課せられた榮譽ある義務でなければなりません

皇軍慰問中支視察旅行報告

駒木根忠三

二　上海に上陸して玉川村軍人會長渡邊二男雄君が上海に居る事を知り直ちに自動車にて面會に參りました、突

電話七四八番

本社平支局（平市新川町二三）に電話が開通いたしました、御利用の程を願上げます

常磐新聞社

祝常磐印刷所新設

町會議員　小濱長太郎
町會議員第三區長　岡山重喜
町會議員　高木惣治
町會議員　菅原勳
町會議員　松本房之助
校務委員長　西山直三郎
學務委員　高木忠治
學務委員　大平勳
學務委員　松本祐夫
學務委員　小島源七
方面委員　上野台收造
磐城座　支配人　小野直千賀

酒銘　玉の井
長瀨彰義釀造元
玉川村林城

契約者本位
一家の延長として
湯本無盡へ
御加入を御すすめする

眼科專門
鈴木眼科醫院
本院　植田町
分院　小名浜町古港

內科・花柳病科
外科・小兒科
會田醫院
院長　會田亮
小名濱町上横町

口腔外科　齒科一般
森合齒科
院長　森合芳男
電話植田七十一番